

Governor's Monthly Letter

Rotary International
District 2800 2018-2019

ガバナー月信 010

ガバナーズ・ヴォイス | ローターリー友情交換事業 | PETS—会長エレクト研修セミナー開催
研修セミナーレポート03 | 第5ブロックIM開催報告 | ローターアクト・ウィンター交流会
インターアクト活動状況 | 地区補助金活用活動 | 米山奨学生から届いたメール④
上林ガバナーの表敬訪問デイズ | 会長の気持ち | しんじんロータリアンのひとこと・スペシャル!
ロータリアンズ・エッセイ⑤ | 新入会員・表彰・訃報 | 4月のスケジュール

4

[地区方針・目標]

ロータリーの原点に戻ろう

April | ガバナー月信第10号・2019年4月1日発行



インスピレーションになろう
BE THE INSPIRATION



Rotary



国際ロータリー第2800地区 2018-2019
ガバナー・上林直樹 | RI会長・バリー・ラシン | RI理事・石黒慶一 三木明

Photograph by Sasaki Yoshiharu



母子健康手帳は 母と子の絆を結ぶ 大事な財産

国際ロータリー 2018-2019年度
第2800地区ガバナー

上林直樹
Naoki Kanbayashi

※4月は「母子の健康月間」です。

今月、母子の健康月間となっています。母子の健康について、その重要性は言うまでもありません。しかし、男性にとっては今一つピンとこない側面があることを否めないでしょう。いや、だからこそ、真剣に深く考える必要があるのではないでしょうか。

ロータリーは世界的な規模で母子の健康について支援しています。「毎年、5歳未満で命を落とす子どもは世界で590万人。その原因は栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなど

あってはならないと、私たちロータリークラブの会員

は考えます。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと健やかに成長できるように、私たちは支援活動を行っています」。

たとえば、日本とブラジルのクラブがロータリーの補助金を利用して、新生児の命を救う機器を病院に提供しました。また、安全な出産のために、清潔な出産キットの配布、安全な出産方法に関する保健従事者の研修など、妊婦が安全な環境で出産できるようにも支援しています。この他にも、数多くの支援がロータリーによって行われています。

さて、話は変わりますが、日本は世界で最も長寿の国であることはご存知のことと思います。多くの

疾病が克服されて寿命が延びていることは、もちろん医療技術の発達が大きな要因です。しかし、長寿化のもう一つの要因は、5歳以下の子どもの死亡率が非常に低いことが挙げられます。それゆえに、幼い子の健康がとても重要になってきます。

日本では、1937年に母子健康法が施行され、出産から保育までの環境が著しく急速に整備されました。1942年に、妊産婦手帳制度が発足。1947年には、児童福祉法により「母子手帳」へと衣替えをしました。1966年、母子健康法施行により「母子健康手帳」に変更し、1981年には「母子健康手帳」に母親が子ども

もの成長記録を書き込めるかたちへと変わりました。

この制度の有用

性に着目したインドネシアが導入し、今度はインドネシアがパレスチナやアフガニスタンへの普及の協力をしました。それを受けて、JICAは南アメリカやアフリカへの普及を進めています。「母子健康手帳」は、母と子の健康に大きく貢献しています。さらに母と子の繋がりを、より一層強くしてくれる働きも持っているのです。

当クラブのメンバーのお母さんが、昨年、お亡くなりになりました。ご実家の整理をしていて金庫を開けたところ、そこには莫大な資産が……入ってなく、ただ一つ「母子手帳」のみが遺っていたそうです。最も大事な財産は、母と子の絆であったということです。ちょっと心にささる話でした。

米国ユタ州のロータリアンが、 米沢、寒河江、天童にやってきた！

2019年3月12日(火)・13日(水)

直前ガバナー 鈴木一作

第5420地区(米国ユタ州)のロータリアンとその家族・友人の一行9名が、ロータリー友情交換(RFE)事業として2800地区を来訪されました。2017年の地区大会にRI会長代理として来られたDean L Jackson氏の地元ユタ州に、昨年9月、私ども夫婦と日本全国

場では会員との間で、RIの現状と今後について熱い討議が交わされ、RFEにふさわしい内容でした。

寒河江では、RFEの一環として佐藤洋樹寒河江市長表敬訪問、さらに陵東中での英会話授業参加と合唱鑑賞、古澤酒造での酒造りと雛人形の見学をし



のロータリアン計10名が訪問した折、第5420地区ガバナー Scott A Leckman氏が日本のロータリークラブと交流したいと希望され、実現したものです。

一行は水戸、会津、米沢、寒河江、天童、大阪、京都、奈良を訪問する計画で、2800地区では3月12日(火)に米沢クラブ例会、3月13日(水)に寒河江クラブ例会、その夜は天童3クラブの合同例会・懇親会に参加されました。今回の来訪には2015-2016年度のRI副会長 Greg E. Podd氏も参加されており、各例会

ていただきました。なお、陵東中での交流の様子は、翌日の山形新聞にも掲載されました。14日の早朝、その新聞記事をお届けし、山形飛行場から元気に飛び立つ一行の姿を見送りました。

[新人ロータリアンのために]

ロータリー友情交換(RFE: Rotary Friendship Exchange) RI常設プログラムの1つ。参加するロータリアンとその家族・友人が、国際的に互いに受入れと訪問を行う機会を提供するもの。主たる目的は、新たな繋がりや友情を育み、参加者が異文化に馴染み、異文化を体験し、国際理解を深めること。

佐藤洋樹寒河江市長を表敬訪問した第5420地区(米国ユタ州)のロータリアンとその家族・友人一行と案内役の鈴木一作夫妻



大久保年度に向けて、 力強いステップを踏み出す

2019年2月23日(土)
パレスグランデール(山形市)

2月23日(土)、本年7月からの大久保年度に向けた「会長エレクト研修セミナー(PETS)」が山形市のパレスグランデールにおいて開催されました。例年のPETSは雪深い中で行われるイメージがありますが、今年は春を思わせる陽気の中、161名のご参加をいただき充実した研修会が行われました。



大久保章宏ガバナーエレクトの開会点鐘によりセミナーが開会され、鈴木一作次期研修リーダーからは、「PETSの目的について」と題してわかりやすく内容のあるご講話をいただきました。

続いて、大久保章宏ガバナーエレクトより「2019-20年度RIテーマならびに地区目標・方針について」を国際協議会の報告とともに、ロータリーへの想い、次年度にかけける意気込みを熱く語っていただきま

した。2019-20年度RI会長マーク・ダニエル・マローニーのテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」。そして、大久保ガバナー年度の基本理念『元気なクラブづくりのために「ロータリーの木」の苗木を植えましょうクラブに、地域社会に、世界に、次世代の為に』。基本方針、元気なクラブづくりのために「一歩前に踏み出しましょう」が発表されました。

午後からは各委員会の「事業の意義と達成に向けて」を各委員会の大小委員長より発表いただきました。「ガバナー補佐・クラブ会長との検討会」では参加者が各ガバナー補佐の担当ブロックごとに分かれ、大久保ガバナーエレクトが各グループを巡回し、地区運営、

クラブ運営についての活発な意見交換が行われました。

セミナー後の懇親会では、津軽三味線によるアトラクションなど、楽しく和やかな雰囲気の中、年度をともにする仲間たちと同じ時間を過ごすことができました。この日の「会長エレクト研修セミナー」が、7月からはじまる大久保年度の、より活発で充実したクラブ運営につながることを祈念して報告とさせていただきます。(PETS 実行委員長/武田秀則)

次年度に向けて、RIテーマと地区目標・方針を
発表する大久保章宏ガバナーエレクト



年度地区補助金配分のための掲題セミナーは会長エレクト研修セミナー(PETS)の翌日、2月24日(日)に山形市のパレスグランデールにて、地区内各クラブの次年度会長・幹事・ロータリー財団委員長を対象に開催されました。

上林ガバナー、大久保ガバナーエレクトのご挨拶に続き、次期ロータリー財団委員長 長谷川憲治PGの基調講演からセミナーはスタートしました。長谷川次期R財団委員長は、世界の現状、ロータリー財団の使命、ロータリー財団のはじまり等を説明され、ロータリー財団の意義をよく理解いただき、地区目標150ドル/人の達成への協力を要請されました。

続いて、和田實次期補助金・奉仕プロジェクト小委員長より、「未来の夢計画」スタート以来の地区補助金の実情報告があり、毎年地区内30前後のクラブから予算(400万円前後)対比150~170%の申請があったことから、配分率をカットせざるを得なかったこと、特に新規案件を優先したことからの地域社会からの期待度の高いはずの継続事業にはカット率を大き

人数クラブの活性化につながる奉仕事業を優先的に活用させたいとの大久保ガバナーエレクトのご意向のようです。

一方、地区災害等救済特別基金の廃止から、当該



26年間にわたり酒田囃子の演奏で酒田まつりに参加してきた酒田中央ロータリークラブは、老朽化していた山車を2014年5月に地区補助金によって再生することができた。

基金活用事業も地区補助金で対応することになった旨の説明もありました。

当地区における地区補助金の活用は上記のよう

ロータリー財団補助金管理セミナー

2019年2月24日(日) | パレスグランデール(山形市)

ロータリー財団委員会 補助金・奉仕プロジェクト小委員会委員長 **和田 實**



くなくなってしまったこと等の状況報告がありました。しかし、7年目を迎える大久保年度は、3年前(地区補助金の予算は3年前の地区寄付金がベ

スとなる)の長谷川次期R財団委員長がガバナーであった年度の寄付額が例年に比べて多額だったこと及びR財団管理委員会が地区DDF活用を促進する

に順調ですが、グローバル補助金の活用はこの6年間でわずか3件の実績しかありません。実績が少ない理由は、海外クラブとの連携による海外奉仕案件であること、また、その目的を含め多くの制約があることが挙げられます。その数少ない実績をご自分で担当された天童東ロータリークラブの武山茂次期補助金・奉仕プロジェクト小委員会委員から、当該グローバル補助金活用事業の実情を細かく解説いただき、予想外に難しくないということを具体例とともに熱く語っていただきました。



ため、今後2年間のDDFを増額する決定があったことから、大久保年度の地区補助金予算額は59,000ドル(現行レートで約650万円)に増額されるという嬉しい見通しが報告されました。なお、この増額分は少

グローバル補助金は地区補助金のように申請時期の制限はありません。思い付いた時点で地区委員会にご相談をいただきたい旨を、参加クラブにお願いしてセミナーを終了しました。

第5ブロック IM開催報告



第5ブロック会長
(中山ロータリークラブ)
西村 雅之
Masayuki Nishimura

小さな町の小さなクラブならではの 地元愛に満ちたIM開催をめざして

第5ブロックのIMは中山ロータリークラブをホストクラブとして、去る3月2日に開催されました。式典の部は、ホストクラブ会長西村が歓迎の挨拶を述べ、主催者として上林直樹ガバナーよりご挨拶、小松幸弘IM実行委員長のご挨拶と続きました。その後、伊藤吉明ガバナー補佐より講師の紹介、中山町郷土研究家である村山拓氏による「紅花文化と中山一小さな町中山のちっちゃい町おこしー」をテーマに講演をいただきました。

登録開始前に「日本遺産 旧柏倉九左衛門家のひなまつり」を鑑賞し、主会場へ移動。玄関前では鹿児島市城山「西郷隆盛像」の5mを超える等身大パネル（製作者：日本現代工芸美術家青木邦明氏）でお迎えをしました。ロビーでは「西郷隆盛・西郷従道兄弟と中山町との縁」のパネルを展示し、基調講演と連動することで、皆様の理解を深められるよう努めました。

白田廣司ガバナー補佐が次期開催ホストクラブを紹介し、中川清美山形中央ロータリークラ

ブ会長のご挨拶を述べ、閉会点鐘となりました。

懇親会は、町内の創作日本舞踊 華園竹志乃会による祝舞「大黒舞」で開幕。佐藤俊晴中山町長のご祝辞をいただき、中山町特産品「すもものワイン」で大久保章宏ガバナーエレクトの乾杯で祝宴がはじまりました。講演で紹介された



「芋煮会発祥の地 中山町」の元祖芋煮「棒鱈芋煮」が振る舞われ、チームマカナによる「ハワイアンフラ・タヒチアンダンス」の華やかなショー。締め「手に手つないで」の輪にも入ってもらい、和やかに合唱して閉会となりました。

たくさんのロータリアンの皆様に参加いただき、親クラブ山辺ロータリークラブの絶大なるご協力に対しても心より感謝を申し上げます。



ローターアクトクラブ ウインター交流会

2019年2月9日(土)
「大山新酒・酒蔵まつり」参加 [鶴岡市]

去る2月9日、鶴岡ローターアクトクラブがホストを務めさせていただき、ウインター交流会を開催しました。毎年、夏は庄内の海、冬は蔵王でのスキーが通例となっていました。今年度は冬の庄内で開催することとなり、鶴岡市大山地区の「大山新酒・酒蔵まつり」への参加を企画しました。

当日は上林ガバナーをはじめとするロータリアンや、友好地区、地区内、合わせて多くの方にご参加いただきました。予想以上の混雑の中ではありますが、4つの酒蔵を巡り、新酒の試飲を楽しみながら、参加者相互の交流を深めました。他地区からの参加者には美味しいお酒、大山の歴史、風土を知っていただけたかと思

いますが、ホストを務めた鶴岡のメンバーにもはじめて参加したという人が多く、地元の魅力を再発見する機会にもなりました。懇親会では庄内の冬の味覚である寒鰯汁を堪能しながら、ローターアクトの活動の意見交換、各々の仕事についてのお話もお聞きし、充実した時間を過ごすことができました。友好地区の参加者からは、ガバナーがローターアクトのイベントに参加してくれて羨ましいという声があり、私たちが恵まれた環境にあることをあらためて気づかされました。

交流会を終えて、参加者から「また来たい」「鶴岡がまた好きになった」との声をいただき嬉しく思うとともに学びや気づきもあって、今後の活動に生かしていきたいと思

います。

今回のウインター交流会の開催にあたりご協力をいただいた皆さま、ご参加いただいた多くの皆さまに厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。(鶴岡RAC会長・川井奈津美)



インターアクトクラブ 活動状況

山本学園高等学校 [山形市]
提唱RC | 山形ロータークラブ

山本学園高等学校では、校内の活動としてペットボトルのキャップ集めや校庭の整備、学園祭では寒河江の『らっふる』、天童の『のぞみ光の家』、山形の『ひなぎくアルファー』の利用者さんがつくったお菓子や小物を販売し、収益金をすべてお渡ししています。

校外の活動としては、『あしなが募金』などの各種募金活動、老人ホームの夏祭り、日本一芋煮会、城西地区の盆踊りの会場準備などに参加。今年はモンゴルの語学研修生を学校に招いてお好み焼きを一緒に作って食べ、食を通して楽しい国際交流を行うことができました。

新たな取り組みとして、本校の所在している城西

地区を盛り上げようと『かけはしの会』が結成され、その一員として交流会に参加しました。「これまで学校との往復だけだったのが、地域の人たちを知ることによってこの地域にあらためて愛着を感じるようになりました」と生徒たちは話しています。今後も多くの人たちと交流し楽しくインターアクトの活動をしていきたいと思

います。(山本学園高等学校教諭・松田栄子)



各クラブの地区補助金活用活動をピックアップしてご紹介!



地区補助金活用活動 | 山形イブニングロータリークラブ

スポーツの振興、子どもたちの健全育成のために貢献できた。

「山形イブニングロータリー杯」とし、RC活動を広く周知。

山形イブニング
ロータリークラブ
社会奉仕委員長
金子 修
Osamu Kaneko

今年度は、地区補助金を活用する事業として「かけっこ・リレー大会」への支援を行いました。

この大会は「山形市子ども会育成連合会」が主催して昨年からはまった催しですが、当初から資金が不足し、当日の運営スタッフも少ないと聞いていました。そこで当クラブで地区補助金を活用して支援することに至りました。

今年の大会は8月18日(土)に山形市のあかね

ヶ丘陸上競技場で開催されました。朝8時から競技を開始し、山形市内の小学生12学区から256名が参加。低・中・高学年毎に分かれて男女各4人1組による400mリレー、4800m駅伝の競技が行なわれ12時頃に終了しました。

具体的な支援内容は、当クラブメンバー10名が参加し、主催団体に大会横断幕を提供、児童256名全員に参加賞(お菓子詰合せ)、ボランテ

ィアスタッフの36名に昼食弁当を提供しました。

この大会はマスコミにも取り上げられ、大会名を「山形イブニングロータリー杯」としたことでロータリー活動を広く周知できたと思われま



地区補助金活用活動 | 鶴岡東ロータリークラブ

山五十川歌舞伎の継承と保存に対する支援事業について

山五十川住民の心意気と、その芸術性の高さに心打たれて。

鶴岡東
ロータリークラブ
会長
斎藤 憲康
Noriyasu Saito

山五十川歌舞伎は300年以上、山五十川地区住民に受け継がれてきた、民俗伝統芸能であります。この特徴は、その芸術性のみならず、現在でも毎年5月3日の春の祭典と11月23日の河内神社秋祭典には、山戸能と山五十川歌舞伎の奉納が行われています。きわめて貴重、かつ住民にとってはなかなか負担の大きい事業でもあります。庄内で有名な黒川能や黒森歌舞伎は、それぞれの地区で年に一度の公演です。一年に合計4回の公演をこなす山五十川住民の心意気とその芸術性の高さには、鶴岡東ロータリークラブの会員は強く心を打たれて支援事業を

開始しました。その練習や舞台装置の組み立てなどに参加するうち、役者のみならず、謡曲、三味線、裏方の活躍など、ふだんは経験できない舞台を作り上げてゆくという作業を通じて、ますます山五十川歌舞伎のその魅力を認識した次第であります。

これからも、衣装の補修や、小道具の作製などに関わっていきたいと思っております。



米山奨学生から届いたメール④



バシヤール・サミウル

山形大学（修士2年）出身国／バングラデシュ
世話クラブ／南陽ロータリークラブ
サブ世話クラブ／米沢ロータリークラブ

私は山形大学大学院古川研究室の2年生バシヤールサミウルです。出身はバングラデシュです。日本に来て4年目になります。学部生までバングラデシュで勉強し、来日しました。日本に来た理由は、機械が好きで日本の大学で機械システムを勉強したかったからです。今年3月には大学院を卒業し、4月からは山形県で就職する予定です。また、奨学会が開催した様々な奨学



生の交換活動に参加することができ、日本の社会や文化、大学院生の研究生活についても理解ができました。

米山奨学生になってからの支援に感謝しております。私は経済的な心配に遭遇することなく、より多くの人生を学ぶことに専念することができました。米山奨学生になってから1年経ちますが、私は1か月に1度の例会に出席し、近況を報告しています。また、クラブ行事や活動にも招待され、家族と一緒に参加させていた



だきました。例会では、様々な職業の方々の職業に関するスピーチで勉強させていただきました。学校や研究などでは得られない幅広い分野の人との交流や日本の文化、習慣なども体験できました。米山奨学会の行事がある時、いつもカウンセラーが参加してくださり、クラブの皆様は常に変わらぬ温かい笑顔で迎えてくださって、本当に家族のような感じがします。

通常の留学生活は勉強とバイトだけの生活ですが、米山奨学生になることで、いろいろな人に会い、様々なことを学ぶことができました。それは、これから卒業後社会に出た時、きっと役に立つと思います。

ロータリークラブは、私たち奨学生にお金の支援だけではなく、色々なことを体験させてくださいました。ロータリアンの皆様には心から感謝しています。皆様、本当にありがとうございました。

私 が 山 形 の
親 代 わ り !

カウンセラー
[南陽ロータリークラブ]

網代 欣二

Kinji Ajiro



海外交流は、
私たちの視野が
広がって、クラブ
活性化に繋がる
良き制度!

夢を持ち、来日されたサミウル君は将来有望な好青年。応援しています!

サミウル君は来日して4年目で、日本語はほとんどマスターしており安心して話ができます。バングラデシュは、1947年にイギリスの植民地から解放されパキスタンから独立した新しい国です。国土面積は日本の2.6分の1、人口は1.5億、首都ダッカ全体が平坦地で豊かな植生に恵まれ竹が多く、国土の60%が農地です。土地も肥沃でデルタ地帯ではジュート（繊維植物袋の原料）が世界の40%

の生産量を誇り、米は3期作可能で、果物やお茶等を生産する農業国です。最近、天然ガスが発見され化学肥料、製鉄や重工業の発展も望まれています。

サミウル君は機械が好きで、日本の大学で機械工学を学び、将来は母国に帰って工業の発展に寄与したいそうです。今年、大学院を卒業し、その後は米沢の工場に就職が決まっています。奥さんも来日して山大に入学したいと、現在勉強中です。クラブの親睦会にも、夫婦同伴で参加しています。

学友会の行事やクラブ例会、親睦会にも積極的に参加してもらおう中で、サミウル君は将来有望な青年だと確信をしています。



米山奨学生から届いたメール／私が山形の親代わり!

●10月11日(木) 最上町長表敬訪問

第3ブロックAG | 檜山智子

最上クラブへのガバナー公式訪問は9月18日(火)に行われましたが、当日は議会開催のために、10月11日(木)の尾花沢クラブの公式訪問の後に最上町役場を訪れました。高橋重美町長は公務のため笠原栄副町長からご対応をいただきました。

上林ガバナーからはロータリー活動についてと地区大会での野口健氏の講演紹介、ロータリーの活動を町民へ知っていただくために『ロータリーの友』を役場に置いていただきたい旨などを話されました。

笠原副町長から豪雨災害の写真を見せていただき、あらためて被害の凄さを知りました。また、酒田～石巻

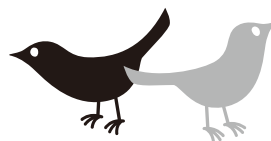
をつなぐ高規格道路「みちのくウエストライン」の話題となり、開通後の地域の活性などについて語り合い、和やかな雰囲気ですべてを終えることができました。



笠原栄副町長にご対応をいただく

上林ガバナーの 表敬訪問デイズ

by Assistant Governor



- 10月11日(木) 最上町長表敬訪問
- 10月30日(火) 庄内町長表敬訪問
- 11月1日(木) 新庄市長表敬訪問
- 11月15日(木) 白鷹町長表敬訪問
- 11月26日(月) 河北町長表敬訪問

●10月30日(火) 庄内町長表敬訪問

第2ブロックAG | 恩田次郎

冬の始まりを告げる冷たい風の吹く10月30日、上林直樹ガバナーは、余目ロータリークラブの浅井多一会長、秋葉正一幹事、そして第2ブロックガバナー補佐の恩田とともに庄内町役場に原田真樹町長をお訪ねしました。原田町長は以前から余目ロータリークラブの会員でもあることから、庄内町の現状やロータリー活動について気さくに語り合うことができました。

特に酒田～余目道路の開通によって距離と時間が短縮され、酒田市と庄内町の交流がより活発になったことが大きな話題となりました。酒田～余目道路は酒田～石巻を結ぶ高規格道路(みちのくウエストライン)の一

部で、今後はこの道路の早期実現に向けての運動を進めることが肝要との結論に至りました。行政の首長がロータリアンであることの心強さを実感した日でした。



みんなが、ロー、ロー、ロータリアン!

●11月1日(木) 新庄市長表敬訪問

第3ブロックAG | 檜山智子

11月1日(木)、新庄あじさいクラブのガバナー公式訪問終了後に新庄ロータリークラブ会長、幹事も加わり、山尾順紀新庄市長への表敬訪問が行われました。

上林ガバナーから、『ロータリーの友』と『ガバナー月信』を山尾市長にお渡しして、ロータリー活動についての理解を求め、『ロータリーの友』を庁舎内の雑誌コーナーに置いていただけることになりました。

山尾市長はユネスコの無形文化遺産となった新庄まつりをはじめ、市内に伝わる祭事について話され、祭男のガバナーは興味深く聞いておられました。また、雪未来、ねぎサミット、ユネスコ5代祭のスタンプラリー等

のイベントやインバウンド構想を語っていただき、熱い思いに燃える新庄市長への訪問を終えました。今日の夕日はいつもより真っ赤に燃えていました。



元氣瀧刺な山尾順紀市長との対話

●11月15日(木) 白鷹町長表敬訪問

第6ブロックAG | 高橋眞己

秋の色の濃くなった去る11月15日(木)、白鷹ロータリークラブの公式訪問を前にして、白鷹町の横澤浩副町長への表敬訪問が行われました。

横澤副町長と上林ガバナーは終始なごやかな雰囲気の中でお話をされ、特に白鷹町が現在建設中の白鷹町まちづくり複合施設のお話、また、紅花染め(日本の紅)、深山和紙、いま話題の白鷹町出身力士、白鷹山の話など、多岐にわたって話題が広がりました。

また、上林ガバナーより『ロータリーの友』を役所、病院等の公共施設に置いていただき、少しでも多くの皆さんにロータリー活動を知っていただきたい旨を強

くお願いをいたしました。

短い時間ではありましたが、有意義で充実した表敬訪問のひとつときであったと思います。



横澤浩副町長を囲んで記念写真

●11月26日(月) 河北町長表敬訪問

第4ブロックAG | 小松栄一

上林ガバナーは、11月26日に河北ロータリークラブの公式訪問後に河北町役所を訪れ、田宮栄佐美町長を表敬訪問しました。『ロータリーの友』、『ガバナー月信』、地区大会のパンフレットを贈呈し、公共の場に置いていただきたい旨を話されました。また、アルピニストの野口健氏を地区大会の講師として招き、環境問題について講演をいただいたことをお伝えしました。

河北クラブが次年度、長期青少年交換事業に参加することに対して、プログラムの意義を高く評価しているとガバナーは話されました。町長からは地域おこし協力隊として台湾から2名が河北町に訪れていること、

アルゼンチン、コロラド州のキャニオンシティーとの関係等のお話を聞き、表敬訪問は若者たちによる活発な国際交流の話題でしばし盛り上がりました。



田宮栄佐美町長にお願いをするガバナー

上林ガバナーの表敬訪問デイズ

上林ガバナーの 公式訪問例会と 表敬訪問に同席して



地区会計
(酒田中央ロータリークラブ)

松井 泰
Tai Matsui



ガバナー公式訪問の同行では、8月と9月に村山クラブと山辺クラブの例会にメーカーさせていただきました。私は他のクラブの例会にメーカーする機会が少なく緊張して会場入りしましたが、JC時代にお世話になった方々と思い出話をしたり、日本のロータリー誕生100周年の記念ゴングの話をしたりすることですぐに打ち解けることができました。

上林ガバナーが例会中に話された内容は皆さまご承知のとおりですが、例会前にガバナーが会長や理事メンバーの方々にお話された内容も帰りの車内で伺うことができ、会員増強へ

の思いは皆共通であると感じました。

また、村山市長や山辺町長への表敬訪問にも同席させていただきました。記念撮影後、上林ガバナーがロータリー活動について最近の話題をお話したり、逆に市や町の現状について意見を交わす姿を目の当たりにして、県内各地のロータリー活動が行政の方々にも快く受け入れられていることが実感できました。また『ロータリーの友』を庁舎の閲覧コーナーに置いていただけるということも、私たちのロータリー活動がより多くの方々にも知られるよい機会になると感じました。



余目ロータリー
クラブ会長
浅井 多一
Taichi Asai

2B

地域社会に必要とされる ロータリークラブであるための 奉仕活動を続け、残り4カ月。

酒 田クラブに入会したのが2001年12月。14年間の活動の中で会長などを経験し、多くを学び、楽しく過ごさせていただきました。2015年に活動の場を生地である余目に移した時、退会も考えましたがロータリーへの執着捨てがたく、余目クラブにお世話になってから4年目になり、2クラブ目の会長の大役をいただき経験を活かしながら、ただ今大活躍中です。原点に戻る3つの重点活動目標を実践してから8カ月が経過して……

- ①エンジョイロータリーで出席率の向上を図ろう。は、楽しく集い、笑顔と喜びに溢れ、出席したくなる例会になってきたように思います。
- ②会員増強に全会員で取り組み、若い世代の仲間

を増やして、将来へ繋げよう。は、活力ある若者がどしどし入会してくれて現在34名。若手会員の積極的な働きがクラブ活性化に繋がりと、期待の膨らむ体制ができてきました。昨年度末で解散となった立川クラブの皆様より1名の入会をしていただきましたが、それぞれの事情で2月末に退会。31名でスタートし、変動ありながらもさらに増強をと、若手中心に活動する躍動感は素晴らしいです。

③新規社会奉仕事業への取り組み。は、プログラム委員会が交渉し、承諾を得たゲストの方々からのスピーチで活動のヒントをいただきました。

この度、昨年8月の大雨災害を経験したことで、庄内警察署と話し合いの結果、災害時の「早期避難宣言」で協力活動をする事とし、宣言に調印します。地域のためになる活動こそがロータリー。

再入会し、日も浅い(?) 非才に、2回目の会長職を経験させていただいたメンバーの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。楽しくも有意義に活動を支えていただき、ありがとう。残り4カ月は、地域へのさらなる思いやりの心で取り組み、楽しく次へと繋がる活動を続けて締めくくります。

我

が中山ロータリークラブは会員数13名(2019年2月現在)のまさに少数精鋭のクラブであります。私は入会5年目にして名誉ある会長職を拜命いたしました。これまではSAAを2年、幹事を1期務めたばかりで、ロータリー歴はまだまだ初心者でございます。このような私を陰日向から支えていただきました直前会長小松俊行氏はじめ、すべての諸先輩方、皆さまの暖かい励ましやご指導を頂戴し深く感謝しております。

今年度のクラブの最大のイベントは第5ブロックのIM開催です。小松幸弘実行委員長を中心に、各委員会を結成し準備を重ねてきました。10年に1度回ってくるIMの開催。経験者が僅かで手探り状態の出発でしたが全員が一致団結。次々と出てくるアイデアの数々と行動力で、中山クラブならではのIMとなる事間違いなし。3月2日の開催予定ですので、この原稿がガバナー月信に掲載されるころには必ずや無事成功裏に終了した旨のニュースが届いていることでしょう。上林直樹ガバナーをはじめ、お世話になりました関係各位には心より感謝申し上げます。



中山ロータリー
クラブ会長
西村 雅之
Masayuki Nishimura

5B-a

少数精鋭のクラブだからこそその 団結力と行動力。入会5年目ながら、 諸先輩に支えられ会長職を楽しむ。

クラブの継続事業に、町立豊田小学校の「野草観察園整備」があります。ヒメサユリが咲き乱れる花畑を作るため、地区補助金等を利用して汗を流して数年来作業を続けてきましたが、イノシシによる被害で壊滅に近い状態。半ばあきらめかけた今年度、東南村山地方事務所による「むらやま森の感謝祭」の会場に選ばれ、ヒメサユリの球根300個と害獣防止の電気柵も設置。小学生たちと一緒に植え付け作業し、電気柵の効果はテキメンでいまのところはイノシシの被害なし。初夏6月には可憐な花がいっぱい咲くことを夢見ています。残り数カ月間、皆さまのご協力とご指導をよろしく願いいたします。

原稿をお願いしたところ、
予定を超える量の文章を寄せて
いただいた天童東クラブの金さん。
新人ロータリアンとしての
真摯な眼差しの原稿をそのまま
掲載させていただきます。



天童東
ロータリークラブ
金星
Kin Sei
[2017年10月入会]

私は2017年10月に天童東ロータリークラブに入会しました。1年余りのロータリーの活動を通して、恐縮ではありますが新米ロータリアンの感想を先輩の皆さまと共有させていただきたいと思います。

入会前はロータリーについてあまり知りませんでした。起業して数年になりますが、仕事一筋でお客様以外の繋がりを持ちませんでした。ご縁があり東京から山形天童に定住することになり、地元の経済会と交流したいと思っているところ、お世話になっている方の推薦を受けて天童東ロータリークラブに入会することになりました。ロータリークラブは経済人の集まりとして私は理解していました。

ロータリーに入会して1年間、毎週の例会及び地区大会、ブロック会議、奉仕活動等を通じて、ロータリーについての勉強と理解が少しずつ進みました。ロータリーは各種活動を通して奉仕の精神を推進する団体であると自分なりに理解しています。

入会して、当ロータリーの大先輩であるパストガバナーの教えを心にとどめるように努めています。

①会費をきちんと納めましょう。②例会に参加しましょう。③「ロータリーの友」をきちんと読みましょう。

これができて、自分の職業などを通して奉仕活動を行うことがロータリアンとしての原点ではないでしょうか。

私は25年前、中国から日本に留学して来ました。社会人生活をほとんど日本で過ごしており、中国と日本、制度も違う国での体験を通じて、国とは何か、民族とは何かと考えさせられました。地球は一つしかあ

りません。しかし、長い歴史の中で人類はほとんど互いの権力と欲の奪い合いの歴史であり、平和な日々はほんのひと時しかありませんでした。今も世界中で戦争していて、利益の奪い合いのために、愛国の名目のもとで、他の国、他の民族を排除することが絶えません。ロータリーの創設者であるポール・ハリスの「ロータリーは、世界平和の縮図であり、国々が従うべきモデルです」の言葉から、ロータリーは素晴らしい団体であることを再認識しました。もし、ロータリーという国籍があったら、私が最初に手を挙げたいところです。

日本の戦後70年以上の平和が奇跡的なことに感じます。人間は長くて100年ぐらいしか生きられません。死んだらなんにも次の世に持ち帰ることができません。如何に生きれば、生きがいを見い出せるのか、この答えがロータリーの活動で見えてきた気がします。利己ではなく利他に生きる、世の中の人の役に立つことが生きる価値だと考えています。人生の最後の日に、自分の人生は良かったと後悔しないことが全てと感じます。

こんな素晴らしい団体であるロータリーは会員の高齢化が進み、会員が年々減少しています。先輩ロータリアンの皆さんは若い時から入会していますが、現在の状況は若いロータリアンはとても少ないように



感じます。もっと若い人にロータリーを知ってもらうことが必要だと感じています。日本の全ての市区町村では市報を発行しています。各首長さんをお願いして市報にロータリーのコーナーを設けることはどうか。中学校以上の学校で定期的にロータリーの講演を行うなどして、もっと世の人にロータリーを知ってもらうことが何より必要と感じる次第です。

しんじん
ロータリアン
のひとこと・
スペシャル!



パッと咲いて、パッと散る桜が、 日本人の心情に合うんでしょうね。 時期を見誤らずに今年の花見を楽しみたい。

今年は暖冬で雪も少なく、気温も高めでした。生活していく上ではとても楽だったなと思います。桜の開花も早まりそうで、酒田では4月11日が開花予想日のようです。当クラブでは恒例の花見例会を19日に予定しているようですが、きっともう散っていることでしょうか。

花といえば桜と誰もが思います。いつの時代からなのでしょう。

万葉集(7世紀～8世紀)をみると、一番多く詠まれている花は萩です。秋の花です。2番目が梅です。桜は10番目です。梅は日本自生の花ではありません。中国からの渡来で珍しかったようで、寺社や貴族の家に植えられていました。当時の最新流行で人気があり、だんだんと花といえば梅になりました。

時代はくだって、古今和歌集(10世紀)になると、花は桜として詠まれる歌が多くなります。日本自生の花木として愛されるようになりました。桜の種類はざっと見積もって600種あります。亜種を加えるとさらに数は多くなります。そんなに多くの桜は残念ながら見たことはありません。せいぜい染井吉野、八重桜、山桜、枝垂桜ぐらいですかね。

目にする数が多いのは染井吉野ですね。染井吉野はエドヒガン系の桜と日本固有種のオオシマザクラの雑種の交配で生まれた日本産の園芸品種です。明治時代の中頃に染井村(現在の東京都の巣鴨のあたり)で開発されました。

ところが、この染井吉野は突然変異種なので、あらためて交配させても生まれてきませんでした。日本各



地に数知れずある染井吉野はすべてクローンです。

いまでは、花=桜=染井吉野となりました。日本人に好まれるのは、パッと咲いてパッと散る様子が心情に合うのでしょうか。

時期を見誤らずに花見を楽しみたいと思います。



酒田中央
ロータリークラブ
佐藤 一則
Kazunori Sato
[2018年2月入会]

昨年2月に酒田中央ロータリークラブに入会して、間もなく1年が経とうとしています。自社の経営を引き継ぎ、今後益々、自身の学びと交流を必要としていた時期にお誘いを受けて入会いたしました。

当初は上手くやっていけるか不安もありました。しかし、いざ例会に参加してみ

れば地元の先輩経営者の皆さんが年齢など関係なく一人の仲間として受け入れてくださり、不安はすぐに払しょくされました。

これからも毎週の例会に参加するなかで、さらに先輩たちの話に刺激を受け、多くを学びより高い奉仕の精神を培ってまい

一人前のロータリアンと なる努力を日々重ねたい。

ります。一日も早く皆さんから認めていただける一人前のロータリアンとなれるよう日々努力を重ねていきたいと思っています。



しんじん
ロータリアン
のひとこと ⑨



所属/米沢
職業分類/貯蓄銀行
石倉 範之
Noriyuki Isbukura
[2019年2月入会]



所属/寒河江
職業分類/ゴム工業
水戸部 秀雄
Hideo Mitobe
[2019年3月入会]



所属/酒田東
職業分類/緑化整備業
佐藤 秀樹
Hideki Sato
[2019年3月入会]



所属/天童
野川 幸吉
Kokichi Nogawa
3月7日ご逝去
[享年92歳]

表 彰 表彰おめでとうございます。



第6回 米山功労者
マルチプル
加藤 実
Minoru Kato
[酒田中央]



第4回 米山功労者
マルチプル
長沢 一好
Kazuyoshi Nagasawa
[山形南]



第3回 米山功労者
マルチプル
鈴木 公章
Kimiaki Suzuki
[寒河江さくらんぼ]



第3回 米山功労者
マルチプル
矢口 信哉
Nobuya Yaguchi
[東根]



第2回 米山功労者
マルチプル
第3回 マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
齋藤 榮助
Eisuke Saito
[米沢中央]



第2回 米山功労者
マルチプル
相原 英之
Hideyuki Aihara
[寒河江さくらんぼ]



第2回 米山功労者
マルチプル
遠藤 貞利
Sadatoshi Endo
[寒河江さくらんぼ]



第2回 米山功労者
マルチプル
渋谷 貞雄
Sadao Shibuya
[米沢]



第1回 米山功労者
ポール・ハリス・フェロー
角田 育子
Ikuko Kakuda
[寒河江さくらんぼ]



第1回 米山功労者
金田 亮一
Ryoichi Kaneda
[山形南]



第1回 米山功労者
松田 勝彦
Katsubiko Matsuda
[山形南]



第1回 米山功労者
大沼 栄司
Eiji Onuma
[寒河江さくらんぼ]



第1回 米山功労者
大井 尚之
Naoyuki Oi
[寒河江さくらんぼ]



第4回 マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
菊川 明
Akira Kikukawa
[山形南]



第3回 マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
佐々木源幸
Motoyuki Sasaki
[余目]



第3回 マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
武田寿美男
Sumio Takeda
[山形南]



第2回 マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
佐藤 悌夫
Yasuo Sato
[酒田東]



第2回 マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
小國 利宏
Toshibiro Oguni
[大江]



第2回 マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
土田 政明
Masaaki Tsuchida
[寒河江さくらんぼ]



第2回 マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
早坂 静夫
Shizuo Hayasaka
[寒河江さくらんぼ]



第2回 マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
宮館 順治
Junji Miyadate
[山形南]



第1回 マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
菅原 修司
Shuji Sugawara
[酒田東]



第1回 マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
佐藤 進
Susumu Sato
[大江]



第1回 マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
浅野 裕之
Hiroyuki Asano
[山形南]



第1回 マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
中村 篤
Atsushi Nakamura
[山形南]



ポール・ハリス・フェロー
笹原 儀則
Yoshinori Sasabara
[鶴岡西]



ポール・ハリス・フェロー
後藤 弘吉
Koukichi Goto
[寒河江さくらんぼ]



ポール・ハリス・フェロー
吉田 義尚
Yoshinao Yoshida
[山形東]

第1回 マルチプル ポール・ハリス・フェロー 御橋 廣真 Koushin Mihashi [鶴岡西]

【例会場移転のお知らせ】

4月より例会場を下記に移転いたしますので、お知らせ申し上げます。

【山形西ロータリークラブ】(第2800地区・山形県)

〈新例会場〉山形グランドホテル(現行:大沼デパート)

山形県山形市本町 1-7-42

TEL 023-641-2611 FAX 023-641-2621



Governor's Monthly Letter

Rotary International
District 2800 2018-2019

ガバナー月信 010

母子の健康月間

Schedule of April 4月のスケジュール

日 曜	主要な行事
4/1 月	
2 火	
3 水	
4 木	
5 金	
6 土	米山奨学生オリエンテーション&カウンセラー説明会(山形市) RYLA小委員会
7 日	第3回RAC会長・幹事会(天童市)
8 月	RI第1・第2・第3ゾーン会員基盤向上セミナー(ホテルオークラ東京別館)
9 火	
10 水	
11 木	
12 金	
13 土	地区研修・協議会 / クラブ事務局研修(GE)(山形市) 地区大会(2570地区)(埼玉西北)
14 日	規定審議会
15 月	
16 火	
17 水	
18 木	

日 曜	主要な行事
19 金	
20 土	鶴岡RC60周年事業 / 地区大会(2520地区)(岩手・宮城)
21 日	
22 月	
23 火	第4回インターアクト連絡協議会(寒河江市)
24 水	
25 木	
26 金	
27 土	第6回青少年交換オリエンテーション
28 日	第6ブロックIM / 第7回全国インターアクト研究会
29 月	(昭和の日)
30 火	(国民の休日)
5/1 水	(天皇の即位の日)
2 木	(国民の休日)
3 金	(憲法記念日)
4 土	(みどりの日)
5 日	(こどもの日)
6 月	(振替休日)
7 火	
8 水	



(写真左より) 日和山の桜 | 新井田川に浮かぶ屋形船みづき | 春の訪れを告げる味覚、サクラマス

Rotary



ガバナー事務所

〒998-0854 山形県酒田市末広町7-1 鐵工会館内

tel.0234-28-8604 fax.0234-28-8614

e-mail: ri2800kanba@email.plala.or.jp

http://www.facebook.com/ri2800.kanba

地区事務所

〒994-0027 山形県天童市桜町2-20

tel.023-687-0208 fax.023-687-0209

e-mail: ri2800@muse.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.rid2800.jp>

表紙写真 | 佐々木吉治

遊佐町中山集落のそばを流れる洗沢川堤防の桜並木と残雪の鳥海山。

中山河川公園はいつしか庄内を代表する桜の名所のひとつとなった。

遊佐ロータリークラブはなくなったが、かつては第1ブロックの歴史あるクラブだった。